



心を育てる学校に③ 校長 岡 和香子

10月20日に児童会行事である縁日集会が行われました。1年生から6年生までの縦割りグループごとに遊びのお店を企画、運営してお互いに楽しむ集会活動です。



「折り方見てね。」



「ルール説明、練習してごらん。」



「カラフルにした方がいいよね。」

当日は、6年生代表児童のこのような言葉で始まりました。

ぼくは今日のために多くの準備をしてきました。お店に来た人が楽しむにはどうすればよいのかを考え、ペア決め、作る物など、自分から案を出していき、話し合いを進めていきました。みなさんにとって最高の縁日集会になってくれるとうれしいです。



「次どこに行きたい？」優しく聞いてくれるお姉さん、「やったね。じょうずだね。」とほめてくれるお兄さん、高学年の言うことをちゃんと聞いて楽しめる低学年、みんなのために一生懸命お店やさんをする子供たち。お互いのことを思う気持ちがあふれる最高の縁日集会になりました。

締めくくりの言葉はやはり、6年生代表児童の言葉です。

今日は小学校生活最後の縁日集会でした。6年生になり、出し物や同じグループのことを考える場面がたくさんありました。そこにプレッシャーを感じる部分もありましたが、縦割りグループの人たちと協力しながら本番を迎えることができよかったです。

それぞれの教室では、みんなが楽しむための工夫がほどこされていて、私も楽しむことができました。

子供たちの言葉をよく聞いていると、時に教師の言葉の力を超える語りに出会う時があります。子供の思いが、その姿が、その言葉が子供を変えていく、そんな瞬間に出会えることが教師をやっているとよかったと思える時でもあるのです。

「出会い、学び、変わる」、児童に幸せな未来を拓く力をつける学校